

# 小樽市環境ワークショップ実施報告書

## 「小樽の環境について考えよう！」

### 1. 実施概要

#### 1-1 実施目的

市民意見を次期環境基本計画へ反映させるため、小樽市民を集めワークショップを開催し、小樽市の環境についてグループワークで対話してもらいながら、市の環境の現状、課題を抽出・共有することで、多様な視点からの市民意見の集約を目的とした。

#### 1-2 開催概要

開催日時	2023年11月18日（土）14：00～16：00	
開催場所	小樽市民センター 3階研修室	
参加者	対象者	小樽市民（17名）、小樽市在勤者（1名）
	事務局	小樽市生活環境部 環境課（3名）
	進行役	エヌエス環境株式会社（6名）
ワークショップ形式	ワールドカフェ方式。テーブルテーマについて参加者全員で意見やアイデアを出し合い、ディスカッションを行う。その後、それぞれのテーマについて意見を集約し発表する。良いと思った意見（付箋紙）に「いいねシール」を各自貼り付ける。	
内 容	①自然（緑、海、川、野生生物、外来種などについて） ②まち（都市緑化、文化財、公園、大気汚染・騒音振動・水質、ごみ・廃棄物などについて） ③地球（地球温暖化、気候変動、省エネ、再エネなどについて）	

#### 1-3 ワークショップの進め方

##### 【開会・導入説明】

小樽市環境基本計画およびワークショップのルールについての説明

##### 【グループワーク】

- ① 自己紹介
- ② 「自然」、「まち」、「地球」について1テーマにつき15～20分間アイデアを出し合う。
- ③ 3テーマの意見交換の後、最初のテーブルに戻り、初めに議論したテーマについての意見集約する（20分）
- ④ 休憩時にいいねシールを貼り付け
- ⑤ グループ発表（各グループ5分程度）

##### 【閉会・アンケート記入】

アンケート記入後、終了

## 2. 各テーマの意見集約

### 2-1 「自然」

「自然」というテーマに関して出された意見を7つに集約した。

- ・「森」…森林の減少だったり、山がハゲてしまうことの対策として、植樹だったり緑化運動を行う。  
具体策としては、広葉樹を増やして森を肥し、水を貯えさせる。という案が出された。
- ・「ヒグマ」…新幹線や道路の掘削工事による振動によってクマが市街地に下りやすくなってきているのではないかと。最近のクマというのは、ハンターの減少によって人間の怖さを知らない個体が増えてきている。ハンターを増やすことで人間の怖さを知ってもらって、人間とクマの生活圏の住み分けをさせた方が良いのではないかと意見が出された。
- ・「動物」…キツネやシカなど、小樽市の人口が減少しているなか、居住地域の縮小を避け、人の管理が行き届くようにして動物と人間の生活圏を分ける対策をとる。
- ・「カラス」…カラスに餌をあげたりする人や、ごみステーションでいたずらをするカラスが増えていて、糞や騒音の問題が出ている。カラスに餌をあげてはいけない事の周知と、カラス料理の普及等でカラスの有効活用はできないかという意見が出された。
- ・「景観」…小樽は「水が美味しい」、「海がきれい」、「桜がきれい」、「旧手宮線が整備されていてとてもきれい」、という意見があがった。これらの情報や魅力を積極的に発信して、人口を増やすことで財源を増やし、地域コミュニティの活性化等で地域のつながりをより増やしていくのはどうか、という意見が出された。また、地域特有の絵柄を採用したマンホールを小樽市でも作成するのはどうかという意見が出された。例えば、漫画ゴールデンカムイとのコラボによって、小樽市独自のマンホールを作成し、観光資源の一つにしたらどうかという案が出された。
- ・「ごみ」…住民に対してのごみ捨てルールの明確化が必要との意見があった。ごみステーションを網目状から壁状にすることで、カラスや動物が悪戯しにくくできるのではないかと意見が出された。
- ・「観光」…小樽は世界に誇れる自然環境を有している強みがある。また、ウインタースポーツも盛んである点をもっとアピールしていければ、小樽市に入ってくる人、小樽市の魅力に気付く人が増えるのではないかと意見が出された。

### 2-2 「まち」

「まち」というテーマに関して出された意見を3つに集約した。

- ・「ごみ」…路肩のごみ、枯葉や雑草が気になる。小樽周辺の不法投棄のごみが目立つ。新幹線工事で出た残土が川に流れ込んでいるが川の水質は検査しているか。再生可能エネルギーの開発のために自然が損なわれたら何もならないのではないかと。バランスは難しいが、同時にある程度整備するのは環境の維持に役立つのではないかと。例えば、最近、旭展望台のトイレがバイオトイレに変わった。大変きれいになった。この延長で、市外からロッククライマーがくる赤岩峠の駐車場やトイレを整備して欲しい、という意見が出された。ごみの問題は決定打が無い。結局、捨てる人の自覚に基づくとの意見が出された。

- ・「公園整備」…運河沿いは整備されてきたが、周辺のトイレなどはまだまだ整備されていない。ただ、小樽市は人口が減ってお金が無いのは市民も重々承知。民間資本に頼っても良いのではないか。という意見が出された。
- ・「その他」…空き家、シャッター街を何とかして欲しい。サテライトオフィスを作るとか、古民家を活用するなどの意見が出された。

## 2-3 「地球」

「地球」というテーマに関して出された意見を3つに集約した。

- ・「雪」…移住して来た方からの意見だが、坂から流れてくる雪解け水をなんとか再利用できないか。それをエネルギーに転換し、活用できないか。また、雪を倉庫に貯めて、夏場に冷房に使う。大学と連携して考えていく方法や民間資本を募って対策に繋げていけないだろうか。雪を利活用したいという意見が出された。
- ・「夏の暑さ」…温暖化は地球規模で進んでいる。小樽も昔と比べかなり気候が変わってきている。雪を利用した冷房設備ができれば良いのではないかという意見が出された。そのためには雪を備蓄する施設が必要。お金も必要。産学協働によるトライアルの場として小樽を提供してはどうか。行政と協力して発展していければ良いと思う。という意見が出された。
- ・「省エネ・再エネ」…小樽は自然に恵まれており、再生可能エネルギーに関して、北海道は風力発電ポテンシャルが高いということで各自治体が競って進めている。ただ、山林に風車に立てるとなると建つ場所は限られるが、取り付け道路などの開発もある。小樽市民憧れの丸山360° パノラマも風力発電所が立つと景観的にマズいということで、小樽市が反対意見を示したのは大英断であった。その中でも自治体が再生エネルギーをどうするか考えなければならぬ。小樽市が来年7月末までに市内の小中学校にエアコンと取り付けると発表した。しかし、化石エネルギーを使っていけないし、原発にも回帰できない。そうすると洋上風力しかないのかなど。風力発電に反対されている方は洋上風力もダメと言っておられるが、一刻も石炭火力とかLNGから再生可能エネルギーへ転換し、電力を自給する方向に行ければ良い。という意見が出された。

## 3. アンケートまとめ

ワークショップについて、「最初はもっと難しい議論になるのかと思ったが楽しかった」、「ワールドカフェ方式は気軽に参加できる方法だと思う」との意見があった。「想像以上に楽しかった」・「楽しかった」と回答した方が89%を占め、市民意見を聞く方法としては効果的な方法と考えられる。

全体的に意見を出しやすい雰囲気だったものの「テーマを検討する時間が短い」、「何を事前にか事前に知っていたらもっとスムーズかと思った」という意見があった。「それぞれ好き勝手に話すのでまとめるのが難しいのでは?」、「地球というテーマは大きすぎてテーマを話し合われていなかった」と感想を述べた人もいた。

ワークショップを知ったきっかけは人からの紹介が56%で、次いでチラシが28%であった。市のHPやSNSを利用しての参加者募集について、検討や工夫が必要と考えられる。

ワークショップへの参加を決めた理由について、「市の環境に関心があった」が13票と最も多く、次いで「自分の良い経験になる」が9票であった。また、ワークショップに参加した感想は、「市の環境への関心が高まった」と「知識や経験をもつ人と知り合えた」が、ともに10票であり、市民同士で環境問題に関して意見や情報の交換が、「楽しかった」と感じてもらった要因と考えられる。

今回の参加者の年代は10～30代が11%、40～50代が44%、60代以上が45%であった、若い世代の参加率は低かったが、参加者の居住区域については特に偏りは無く、市内全域から参加していただけた。

## 4. 当日の様子

### 4-1 ディスカッションの様子



### 4-2 発表・記念撮影

#### ① 「自然」



② 「まち」



③ 「地球」



## 5. 意見概要

### ①「自然」



<p>【森】森林。外来植物。カラマツ林が多い。大きな木がない。小樽千年の森。植樹・緑化運動推進。木を植えて空気の浄化とか土砂崩れ予防。●広葉樹を増やす。</p>
<p>【ヒグマ】ヒグマ個体数増。クマが出すぎ。天狗山クマ対策。●ハンター減少。駆除に対する理解が足りない。動物愛護→馴化。緩衝地帯ない。熊料理専門店作る。●ハンター増やす。</p>
<p>【動物】エゾシカ増えた。キタキツネが町中まで出てきている。●エキノコックスリスク。動物の生活圏が狭まっている。人間の生活圏が広がっている。町の活性化→住み分け。●コンパクトシティ→動物の生息エリア確保できないか。</p>
<p>【カラス】カラス。鳥のフン。カラスロボット。●カラスに餌あげない。ご近所で声掛け。●カラス料理、●●電柱の地中化。</p>
<p>【景観】●水が美味しい、海がきれい、人口減少、桜がきれいなところたくさん、旧手宮線整備されてきれい、●自然とふれあえる場所少ない、●自然とふれあえる公園がもっと増えて欲しい、管理者不明確、●●伝えきれていない、公園作る→資金が必要、●人口を増やす財源確保・地域コミュニティ、●自然のつながりが見えるようにしたい、マンホールを観光資源に</p>
<p>【ごみ】●運河のごみ減っている。活用には資金が必要(ノトリ)。たばこポイ捨て多い。ごみステーション取扱い問題。ごみステーション、カラスちらかす。自然増えると不法投棄する人いる。ごみステーション改良。●ルール明確化。</p>
<p>【観光】海水浴場楽しい。●海と山を楽しめる。●自然に囲まれている。●ウインタースポーツがある。●世界に誇れる自然環境。人が来る。</p>

※●は「いいねシール」

② 「まち」



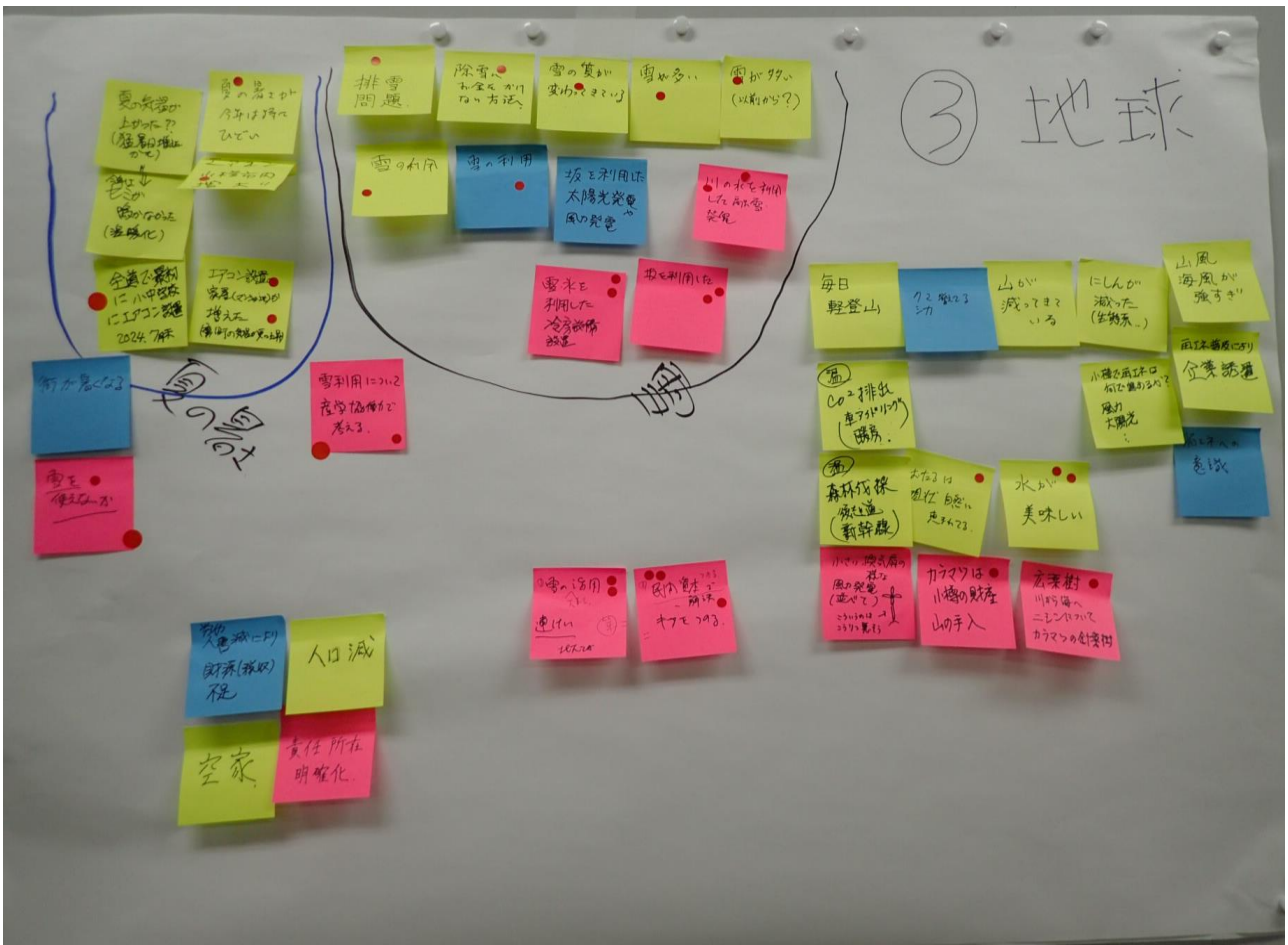
**【ごみ】** ごみ箱が無い。ごみ出しルールが守られていない。分別？ ●道端にごみ。街路樹の管理。自然が多いがその管理。ごみの回収。草・木 ●●●遊歩道に不法投棄が多い。●不法投棄。●河口にごみ溜まっている。タバコのポイ捨て。●塩谷川の水質、新幹線トンネル残土からの。トンネル残土の管理。ポイ捨てについての個人の意識の差。自然の物についての管理方法。●腐る物（落葉、植物由来）はコンポストへ。●草や木を回収して欲しい。AIごみステーションロボット。市民・道民全体の意識向上。●●旭町1丁目のカラマツの財産。

**【公園整備】**公園のスケールが他都市と比べて小さい。●赤岩峠のトイレが汚い、駐車スペースが狭い。道路に散布する砂。道路わきの歩道の雑草が生え茂っていて歩行の妨げになっている。公園に雑草が生い茂っている。散歩老人が休める場所少ない。●●旭町の遊歩道・自然の村。●小樽公園の小便小僧がある自然の「池」を将来、残して欲しい。遊歩道を整備して人をよびこむ・メンテナンスバイク（エンジンなし）。外国人のトイレの使い方問題、視覚で判る案内（トイレなど）。

**【その他】**都通りが寂しい。神社と寺と教会が近い。せっかく仲良いのにもったいなし。水天宮の下の崖にエレベーターとかあれば便利（観光客がヘトヘトで歩いている）。除雪。商店街＝シャッター街。歴史的な建築物がないがしろにされている。空き店舗などに卓球場とかあれば。バイクの騒音・国道の直接道路。縄文遺跡の整備が他町と比較してお粗末。天神町～望洋台に通じる道々の街路樹が撤去されて、シートに覆われている（約2km）。●すし屋通り付近の駐車場。札幌への通り道にならない⇒なんとしても宿泊させる。●サテライトオフィス。都通りの活性化。総合体育館が山の上なので都通りあたりに卓球場やバスケットボール場などがあれば嬉しい。空き家活用。移住体験拡大。市民の生活の場をコンパクトに集める。自動運転バス。活性化のセンサー。人口増対策・企業誘致→税収増。人の流れを造成。

※●は「いいねシール」

③ 「地球」



- 【雪】●●雪が多い。●雪の質が変わってきている。●排雪問題。●●●●●雪の利活用。●●坂を利用した。●●●川の水を利用した発電・融雪。●除雪にお金を掛けない方法。●●●●民間資本で解決。●●氷雪を利用した冷房施設設置。●●雪の利用について産学協働で考える。坂を利用した太陽光発電や風力発電。大学と連携。寄付募る。
- 【夏の暑さ】●夏の暑さが今年は特に酷い。夏の気温が上がった(猛暑日増えたかも)。今年ハセミが鳴かなかった(温暖化)。●エアコン小樽市内増える。●●エアコン設置家屋(マンションも)増えた(気温がさらに上昇)。●全道で最初に小中学校にエアコン設置(2024年7月末)。エアコンで街が暑くなる。●●雪を使えないか。
- 【省エネ、再エネ】●小樽は現状自然に恵まれている。毎日軽登山。山が減ってきている。山風海風が強すぎ。●●水が美味しい。●カラマツは小樽の財産。●広葉樹。山の手入れ。クマ・シカ増えてる。省エネ意識ない。ニシンが減った(生態系)。再エネ普及により企業誘致。小樽で再エネは何で進めるか(風力・太陽光?)。CO<sub>2</sub>排出(車アイドリング、暖房)、森林破壊(後志道・新幹線)。川から海へ。ニシンについて。カラマツ針葉樹。小さい換気扇の様な風力発電(並べて)効率悪そう。
- 【その他】人口減。空き家。労働人口減により財源(税収)不足。責任の所在を明確化。

※●は「いいねシール」



## 6. 参加者アンケート結果

<p>Q1 今回の市民ワークショップを終えて、率直な気持ちをお聞かせください。</p>	<p>Q2 今回のワークショップを知ったきっかけは何ですか。</p>
<p>Q1 Results:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>楽しかった: 56%</li> <li>想像以上に楽しかった: 33%</li> <li>どちらでもない: 6%</li> <li>つまらなかった: 5%</li> </ul>	<p>Q2 Results:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人からの紹介: 56%</li> <li>チラシ: 28%</li> <li>SNS: 5%</li> <li>市のホームページ: 11%</li> <li>広報: 0%</li> </ul>
<p>Q3 今回のワークショップへの参加を決めた理由は何ですか。(複数回答可)</p>	
<p>Q3 Results (Reasons for participation):</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 市の環境に関心があったから: 13</li> <li>② 市の未来を考えたかったから: 4</li> <li>③ ワークショップに興味があったから: 2</li> <li>④ 市のことをより知りたかったから: 4</li> <li>⑤ 環境基本計画改定に関わりたかった: 2</li> <li>⑥ 環境問題全般に関心があったから: 5</li> <li>⑦ 自分の良い経験になるから: 9</li> <li>⑧ その他: 1</li> </ul>	
<p>Q4 今回の市民ワークショップに参加してどんな感想をお持ちになりましたか。(複数回答可)</p>	
<p>Q4 Results (Impressions):</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 市の環境への関心が高まった: 10</li> <li>② 環境問題に取り組むきっかけになった: 2</li> <li>③ 環境問題への関心が高まった: 6</li> <li>④ 環境行政に自分の意見を発言できた: 3</li> <li>⑤ 知識や経験をもつ人と知り合えた: 10</li> <li>⑥ その他: 2</li> </ul>	

Q5 今回の市民ワークショップの感想や内容、進め方などについて、何かご意見がありましたら自由にご記入ください。

- ・最初はもっと難しい議論になるのかと思いましたが、楽しかったです。
- ・ワールドカフェ方式は気軽に参加できる方法で良いと思います。
- ・本日はありがとうございました。
- ・お疲れ様でした。楽しかったです。
- ・とても有意義な時間でした。お茶やお菓子を頂けて嬉しかったです。
- ・何をするか事前に知っていたらもっとスムーズかと思いました。
- ・時間が少なかった。
- ・話し合ってる間にマイクの声が大きくて聞きにくくなります。好き勝手に話すのでまとめるのが難しいのでは？
- ・例えば、テーマ③に関して、「地球」に関しては何も話し合われていなかった。

Q6 年齢とお住いの居住地域に○をつけてください。

<p>年齢</p>	<p>①10代 0人 ②20代 1人 ③30代 1人 ④40代 2人 ⑤50代 6人 ⑥60代 4人 ⑦70代 3人 ⑧80歳以上 1人</p>	
<p>居住地域</p>	<p>① 銭函・星野町・見晴町・桂岡町・張碓町・春香町 1名 ② 朝里・朝里川温泉・新光町・新光 1名 ③ 船浜町・桜・望洋台・潮見台・真栄・若竹町 3名 ④ 築港・港町・勝納町・住吉町・信香町・新富町・有幌町・若松 0名 ⑤ 入船・住ノ江・最上・奥沢・天神・松ヶ枝・天狗山 2名 ⑥ 山田町・東雲町・堺町・花園・相生町 2名 ⑦ 富岡・緑・稲穂・色内 2名 ⑧ 錦町・豊川町・末広町・手宮・高島・祝津・赤岩・梅ヶ枝町 1名 ⑨ 長橋・幸・旭町・清水町・石山町 1名 ⑩ 塩谷・オタモイ 2名 ⑪ 桃内・忍路・蘭島 2名 ⑫ 市外 (在勤・在学) 1名 (在勤)</p>	